

「GIGA端末を使って授業をしよう～1学期の実践から学ぼう～」

9月24日(金)に第3回瀬戸内まなび塾を行いました。今回は、邑久小学校主幹教諭の森阪信樹先生、国府小学校教諭の西池将太先生、行幸小学校教諭の水田順公先生を講師として、ZOOMを用いた遠隔研修で、GIGA端末を活用した授業づくりについて、先生方と一緒に勉強しました。参加された先生方は、日々悩まれながら一人一台端末を活用している中で、3人の講師の先生方の具体的な活用事例についてふれたり、他校の先生方と協議をしたりすることを通して、これからの実践について、より前向きに考えていくことができそうだとの感想を多くいただきました。

低学年の担任なので、使い道が限られているように感じましたが、ロイロノートなど、できることから使ってみようと思いました。生活科で写真を撮ることや、音楽でリズムづくりをしてクラスで共有することなどができそうかなと思いました。

タブレット端末を使いやすい環境や機会を設けることで、「この場面で使えそうだ。」と子どもたちからもアイデアが出てくるようになればと思いました。

3人の活用事例を聞き、やってみたいことが増えました。ロイロノートはまだまだ研修が必要そうですが、スカイメニューのストップウォッチやQR読み取り機能、発表ノートから使ってみようと思います。

GIGA端末活用に向けて勇気と元気が出ました。ロイロノートの活用を進めてみようと思います。

まずは自分がさわって慣れることだと思いました。いろいろな先生方の事例を聞くことで使うイメージが伝わったので、これからもアンテナをはって学びながら、どう取り入れることができるか模索していきたいです。

「授業の一部分でもいい。」という話を聞き、構えずに積極的に使って、効果的な活用法を探っていきたいです。タイピング練習や使い方の指導などタイミングをとらえてしていきたいです。

担任によって活用に差がありすぎないように学校全体として取り組んでいくことが必要になるということを感じました。

3人の先生方の実践を聞いて、私も使ってみたいなとプラスの考えになりました。まずは使い方を知ることから始め、授業のどの場面で活かすことができるのかを考え、少しずつ取り入れていきたいです。